年　　組　名前：

部活や生徒会　1校時に
甲陵中で週1回
教員の多忙解消へ

北杜・甲陵中は2026年度から、毎週木曜の部活動を取りやめ、代わりに1校時を部活動や生徒会活動の時間に充てる取り組みを始めた。多忙化①課題となっている教員の働き方改革を進める狙いがあり、担当者は「部活動と学習時間の確保を図りながら、教職員のより良い労働環境づくりも目指していく」としている。

「ナイスプレー！」「もっとパスを回していこう」。5月中旬の木曜日の午前9時、通常であれば授業が行われている時間に、育館②卓球やバスケットボール③練習に励む生徒の姿があった。

同校ではこれまで水曜を除く通常の平日は、始業前の午前7時半ごろから8時15分までと、放課後の午後4時から午後5時半まで部活動をしていた（クラブによって違いあり）。26年度からは木曜の始業前と放課後の活動を取りやめ、代わりに1校時の50分間を部活動や生徒会活動に充てている。1校時の開始時間を早めたり、昼食と休憩の時間を短縮したりすることで5校時を通常より30分長い80分間とし、その後20分間の補充学習もすることで、授業時間を確保しているという。

同校によると、教員の早朝勤務の軽減や定時退勤を進めることで、負担軽減④図る。一方、生徒側には下校時刻を早めることで、生活⑤ゆとりができ、家庭学習や校外活動の時間に充てられるなどのメリットがあるとみている。

生徒会とテニス部に所属する2年の平沢瑛さんは「（木曜の）下校時刻が1時間ほど早くなり、心の余裕ができた。テスト勉強や運動の時間に使っている」と充実した様子。古屋啓一校長は「早朝や放課後の部活動は、教員の長時間労働の要因の一つ。生徒、教職員の意見を聞きながら、状況に合わせて必要な対策をしていく」と話している。

（2026年7月29日付 山梨日日新聞17面）

問題1　記事の①～⑤に入る助詞を答えてください。

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）　⑤（　　）

問題2　次の文を読みなさい。

「これまで水曜を除く通常の平日は、始業前の午前７時半ごろから８時１５分までと、放課後の午後４時から午後５時半まで部活動をしていた（クラブによって違いあり）。２６年度からは木曜の始業前と放課後の活動を取りやめ、代わりに１校時の５０分間を部活動や生徒会活動に充てている。」

上の文を読んで、下記の文の（　　）に入る適当な言葉を選び記号で答えなさい。

２６年度からの取り組みにより、木曜日の部活動の時間は、（　　）。

①減った　　②増えた　　③変わらない

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.